

やぎ座



12月23日～1月20日生まれの誕生星座

☆実際に見える季節→秋

◎小さな星が切れ目なく、きれいに逆三角形を作っている星座です。

◎古代メソポタミアの古い星座です。メソポタミアでは、エアという知恵と水の神様とされています。

やぎ座の神話

ギリシャの神様の中に、おもしろい姿をした牧人と家畜の神パーンがいました。

どんな姿かというと、上半身は人間で下半身はヤギの姿、そしておでこにはヤギの角が生えているのです。パーンは、音楽と平和が大好きで、少しおっちょこちょいなところがあるゆかいな神様でした。

ある日、ギリシャの神々が集まり、大宴会をしていました。

音楽や踊りがじょうずなパーンは、宴会で大活躍し、みんなを楽しませていました。

楽しい時間をすごしていると、突然テュフォンという恐ろしい怪物があらわれたのです。神々はいろいろな動物の姿になって逃げだしました。そんな中、ヤギの姿になって逃げていたパーンはなにがなんでもかわからずあわてて川へ飛びこんだところ、うまく魚に化けることができず、下半身だけ魚になってしまったのです。

なんとか逃げきったあと、ほかの神様たちがパーンのその姿を見ると、みんなが笑い喜び「このおもしろくゆかいな姿を天に残そう!」と仰りました。いやがるパーンを無理やり担ぎ、天に上げ星座にしました。この化けそこなったヤギの姿がやぎ座です。

☆星座の絵に

色を塗ろう!

参考文書 神話「小学館の図鑑 NEO 星と星座」

「地人書館 秋の星座博物館 山田卓著」

誕生星座の月日 「星の手帖社 パノラマ版こども星座図鑑」

※資料等によって内容が異なる場合があります。